

# 「災害弱者」対策、急ぐべき

## 横浜市会議員やまうら英太

今年度私は、「減災対策 防団員数 消火能力の高さ 推進特別委員会」に所属し、は全国レベルです。

横浜市の取り組み対策を多角的に検証してきました。一方で市全体では、未着手な部分も数多い。例えば、

横浜市は地域防災拠点訓練やケガをした際の提携先病院の多さなど、マニュアル化したもの、制度化したものは相当なレベルに達しています。特に戸塚区の消

はこれから。家屋倒壊など

の危険がある場合、屋外に出て頂くこととなりますが、「災害弱者」が誰で、何処

にいるのかを、担当局間での情報交換が確実でないため、震災が発生した際

適切に対処できる状況にはありません。ご自宅から屋

外まで連れ出す訓練を、高校生に参加させ実施している地域もありますが、行政

と連携が取られておらず、散発的に終わっています。

また、家族同様に暮らすペットを参加させる訓練も

数少ない現状です。

こうした課題改善は早急に対処すべき。地域の方々の

取り組み、要望を市に伝え、より精度の高い備えと

なるよう、要請し続けます。



横浜市会議員  
**やまうら 英太**

《略歴》  
◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グローバル経営大学院修了、㈱ニトリ  
◆横浜市認定保育園園長(保育士) ◆衆議院議員秘書 ◆2015年 横浜市会議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7  
☎045-864-3112 <http://www.eyeita.net/>